

平成29年度 事業別予算概要

事業名	71100	道路河川等整備推進事業費	会計	1	一般会計	基本分野	5	基盤・安全	根拠計画		市長公約 北陸新幹線駅や東海北陸自動車道沿線の都市圏と高山市を結ぶ広域公共交通の整備・充実を関係機関に要請し、実現します
			款	7	土木費	個別分野	2	道路	実施計画事業	道路河川等整備推進事業	
担当課		基盤整備部 建設課	項	1	土木管理費	施策の概要	1	幹線道路ネットワークの構築	H29実施計画額	3,300 千円	
		内線 2321	目	1	土木管理費						

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・国、県道の整備促進により、市道を含めた幹線道路網を構築し、便利で快適な道路利用を図る。 ・河川の整備促進により、災害から市民の生命財産の保護を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・同盟会等を活用し、事業主体である国及び県等に対して、事業促進に向けた要望や提言活動の実施
	対象者数	90,024 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績	・社会基盤施設の整備促進に向け、国、県等へ3回(6月、10月、2月)要望書を提出し、事業促進を提言した。									
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		要望・提言活動の回数	回	目標値	3	3	3	3	3	
				実績値	3	-	-	-	-	
		算出根拠等		達成率(%)	100	-	-	-	-	
				目標値						
				実績値						
	達成率(%)			-	-	-	-	-		
	成果指標	算出根拠等		目標値						
				実績値						
				達成率(%)	-	-	-	-		
				目標値						
				実績値						
達成率(%)				-	-	-	-			

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・各同盟会活動の必要性や役割を検証し、活動内容の見直しなどの検討を行い、同盟会負担金の低減を図る必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	・飛騨地域内の自治体及び関係同盟会と連携した広域的な要望や提言活動の実施について調整を図っていく。	
課の考えの担当	○ 維持・改善	
	拡大	・社会基盤の早期整備に向け、関係機関と連携した要望や提言活動の実施に努める。
	縮小	・設立目的の達成度合いに応じて組織の活動内容を見直すことができるよう、関係機関と協議を行う必要がある。
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	3,329	3,129	4,378	3,448	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	36	34	49	38	
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・道路網整備調査 ・国、県への要望・提言活動(年3回(7月、11月、2月)予定)	要求のポイント	事業実施の課題	・活動内容の見直しの検討を行い、同盟会負担金の低減を図る。
------	---	---------	---------	-------------------------------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	4,378	3,448	△ 930	8,848	8,848	・積算内容を精査 ・道路網整備に向けた調査に要する経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	4,378	3,448	△ 930	8,848	8,848		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	72300	道路新設改良事業費		会計	1 一般会計	総合計画	基本分野	5 基盤・安全	根拠計画	高山市橋りょう長寿命化修繕計画	市長公約	市内の業界・企業の皆様と協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます
担当課	基盤整備部 建設課		款	7 土木費	個別分野		2 道路	実施計画事業		道路新設改良事業		
	内線	予算	項	2 道路橋りょう費	施策の概要		2 災害に強い道路整備の推進	H29実施計画額	400,000 千円			
		2328	目	3 道路新設改良費								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・市道の安全性と信頼性を高めるとともに、機能的な地域内道路網を確保し、道路利用者の利便性と快適性の向上を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・道路の新設、拡幅改良、歩道設置 ・橋りょうの架け替え、耐震補強、長寿命化修繕 ・道路用地の取得
	対象者数	90,024 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市道新宮前原線、第一松本上野線、市道上切中切2号線(一部)が完成した。 ・道路拡幅に必要な用地取得を実施した。 ・橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、橋りょうの長寿命化修繕計画及び耐震対策工事を実施(穂枝橋他)した。 									
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		道路改良等完成延長		m	目標値	671	530	428	246	70
		算出根拠等			実績値	449	-	-	-	-
					達成率(%)	67	-	-	-	-
		道路用地取得面積		m ²	目標値	3,040	785	1,144	131	540
		算出根拠等			実績値	2,728	-	-	-	-
				達成率(%)	90	-	-	-	-	
	耐震、長寿命化対策実施橋りょう(累計)		橋	目標値	86	92	97	103	110	
	算出根拠等			実績値	84	-	-	-	-	
				達成率(%)	98	-	-	-	-	
	道路用地取得率(千島線、上切中切2号線、千島松本線)		%	目標値	67	72	87	89	98	
	算出根拠等		取得済用地面積 / 取得予定用地面積	実績値	58	-	-	-	-	
			達成率(%)	87	-	-	-	-		
橋りょう整備率(耐震補強、長寿命化修繕)		%	目標値	78	83	88	93	100		
算出根拠等			実績値	76	-	-	-	-		
			達成率(%)	97	-	-	-	-		

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・用地交渉の難航については、継続して地権者の理解が得られるよう取り組む必要がある。 ・新工法の積極的採用や耐久性を考慮した使用材料の選定により、継続して更なるコスト削減に努める必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・継続した用地交渉を行っている。 ・コスト削減に寄与する材料や工法の調査及び積極的採用に取り組んでいる。 	
課の考え方の担当	○ 維持・改善	
	拡大	・地権者との交渉を継続して行うとともに、引き続きコスト削減を図りながら、計画的な事業推進(重要度の高い施設の優先的整備)を図る。
	縮小	・将来の負担を軽減する橋りょうの老朽化対策を計画的に推進する。
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除く)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	390,703	689,889	764,896	683,668	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,265	7,586	8,497	7,594	
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・橋りょう耐震補強及び長寿命化修繕 ・村上田頃家線(村上橋) ・富川人道橋 ・千島線 ・千島松本線 ・上切中切2号線 ・松之木千島線ほか 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・橋りょう耐震補強等 ・村上田頃家線(村上橋) ・千島線 	<ul style="list-style-type: none"> 高山市橋りょう長寿命化修繕計画に基づく事業の計画的実施 国との協定に基づく事業の計画的な実施 国の国道41号交差点改良と協調した事業実施 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地権者の理解を得るための継続した交渉 ・施工方法の検討による更なるコスト削減 ・国事業との調整による事業進捗
------	--	---------	--	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	646,290	683,668	37,378	518,050	518,050	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備計画に基づき事業内容を精査 ・富川を中心とした歩行環境の整備に要する経費を計上 	・財務部査定のとおり
国庫支出金	338,250	333,540	△ 4,710	208,850	208,850		
県支出金			0				
その他	5,400	15,500	10,100	15,000	15,000		
一般財源	302,640	334,628	31,988	294,200	294,200		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	72390	県営土木事業負担金		会計	1 一般会計	総合計 画	基本分野	5 基盤・安全	根拠計画	市長公約
			款	7 土木費	個別分野		2 道路			
担当課	基盤整備部 建設課		項	2 道路橋りょう費	施策の概要		1 幹線道路ネットワークの構築	実施計画事業		
		内線	目	3 道路新設改良費			H29実施計画額	70,000 千円		

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・国、県道の整備促進により、市道を含めた幹線道路網を構築し、便利で快適な道路利用を図る。 ・急傾斜地等の整備促進により、災害から市民の生命財産の保護を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・市内で、県が実施する事業への受益者負担の支出
	対象者数	90,024 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績		・負担金額 42,125千円 高山土木事務所管内 36,318千円 一般国道361号(高根町管内)、急傾斜地崩壊対策事業(江名子町管内)他 古川土木事務所管内 5,807千円 主要地方道国府見座線(国府町、上宝町管内)、一般県道古川宇津江四十八滝国府線(国府町管内)他								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
					目標値					
					実績値		-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)		-	-	-	-
					目標値					
					実績値		-	-	-	-
	成果指標	算出根拠等			達成率(%)		-	-	-	-
					目標値					
					実績値		-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)		-	-	-	-
					目標値					
					実績値		-	-	-	-
算出根拠等			達成率(%)		-	-	-	-		

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・事業進捗については、県の予算配分等に左右されるため、管内の予算確保に向けた取り組みを図る必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	・予算確保と円滑な事業実施について、土木事務所に要望を行う。	
課の考え 次年度の担当	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	地域の生活環境の向上に必要な社会基盤施設の早期完成に向け、県へ要望するとともに事業の調整を図る。
	<input type="radio"/> 拡大	
	<input type="radio"/> 縮小	
	<input type="radio"/> 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A) 51,349	42,125	70,000	70,000	
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 561	463	778	778	
	受益者	市民(4月1日現在)	(B) 91,605	90,938	90,024	90,024

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・県が実施する土木事業に伴う地元負担	要求のポイント	事業実施の課題
------	--------------------	---------	---------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	70,000	70,000	0	70,000	70,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	70,000	70,000	0	70,000	70,000		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	74300	街路事業費		会計	1 一般会計	総合計画	基本分野	5 基盤・安全	根拠計画	市長公約	市内の業界・企業の皆様と協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます	
担当課	基盤整備部 建設課		款	7 土木費	個別分野		2 道路	実施計画事業				街路整備事業
	内線	2328	項	4 都市計画費	施策の概要		1 幹線道路ネットワークの構築	H29実施計画額				99,800 千円

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・高山駅周辺の都市計画道路において、歩車道分離による歩行者の安全確保と車道部の2車線化による快適な通行確保を図る。 ・無電柱化事業により、駅周辺の良好な景観形成と大規模災害時の電柱等の倒壊による道路の寸断を防止する。	概要	事業の実施手法(手段)	道路の拡幅改良、歩道設置、無電柱化 ・都市計画道路 西之一色花岡線 ・都市計画道路 高山駅東口線
	対象者数	90,024 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	都市計画道路 西之一色花岡線の工事(道路改良、電線共同溝)の一部及び用地取得(完了)を実施した。 都市計画道路 高山駅東口線の無電柱化に係る電線共同溝詳細設計を実施した。										
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31	
		道路整備延長		m	目標値	360	360	600	240	240	
		算出根拠等			実績値	323	-	-	-	-	
		達成率(%)			90	-	-	-	-	-	
		道路用地取得面積		m ²	目標値	648	703	333	-	-	
		算出根拠等			実績値	117	-	-	-	-	
	達成率(%)			18	-	-	-	-	-		
	用地取得契約件数		件	目標値	6	5	3	-	-		
	算出根拠等			実績値	2	-	-	-	-		
	達成率(%)			33	-	-	-	-	-		
	道路用地取得率(西之一色花岡線、高山駅東口線)		%	目標値	85	95	100	-	-		
	算出根拠等			実績値	69	-	-	-	-		
達成率(%)			81	-	-	-	-	-			

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・用地取得の難航については、継続して地権者の理解が得られるよう取り組む。 ・新工法の積極的採用や耐久性を考慮した使用材料の選定等により、継続して更なるコスト削減に努める必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・継続した用地交渉を行っている。 ・コスト削減に寄与する材料や工法の調査及び積極的採用に取り組んでいる。
課の考え(次年度の担当)	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 ・地権者との交渉を継続して行うとともに、引き続きコスト削減を図りながら、計画的な事業推進を図る。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A) 647,400	137,804	506,754	325,058	
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 7,067	1,515	5,629	3,611	
	受益者	市民(4月1日現在)	(B) 91,605	90,938	90,024	90,024

5 予算編成(Action2)

事業内容	・西之一色花岡線 ・高山駅東口線	要求のポイント	・西之一色花岡線 高山駅周辺土地区画整理事業の進捗と協調した事業の計画的実施 ・高山駅東口線 高山駅周辺土地区画整理事業の進捗と協調した事業の計画的実施	事業実施の課題	・地権者の理解を得るための継続した交渉 ・施工方法の検討による更なるコスト削減
------	---------------------	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	506,754	325,058	△ 181,696	324,754	324,754	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
国庫支出金	278,300	178,310	△ 99,990	178,200	178,200		
県支出金			0				
その他	100,050	43,000	△ 57,050	90,050	90,050		
一般財源	128,404	103,748	△ 24,656	56,504	56,504		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	74400	中部縦貫自動車道推進事業費	会計	1	一般会計	基本分野	5	基盤・安全	根拠計画		市長公約 北陸新幹線駅や東海北陸自動車道沿線の都市圏と高山市を結ぶ広域公共交通の整備・充実を関係機関に要請し、実現します
			款	7	土木費	個別分野	2	道路	実施計画事業	中部縦貫自動車道推進事業	
担当課		基盤整備部 建設課	項	4	都市計画費	施策の概要	1	幹線道路ネットワークの構築	H29実施計画額	1,600 千円	
		内線 2321	目	4	中部縦貫自動車道等推進費						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・中部、関東、北陸圏域への人、物の移動を円滑にし、快適で利便性の高い生活を確保する。	概要	事業の実施手法(手段)	・同盟会を活用し、事業主体である国、県等に対して、事業促進に向けた要望や提言活動を実施 ・長野県の関係自治体と連携し、建設促進に向けた要望や提言活動を実施 ・民間推進団体の建設促進に向けた要望活動や市長への啓発活動に対し、補助金を交付 ・事業個所の住民説明会の開催及び国、県と事業関係者との事業調整
	対象者数	90,024 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・中部縦貫自動車道(高山IC~丹生川IC)間の一部で改良工事、橋りょう上下部工を実施 ・中部縦貫自動車道及び国、県道の事業促進に向けた要望活動の実施 ・事業主体である国、県が開催する地域住民への説明会や調査・測量立会への参加、協力 									
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		要望・提言活動の回数	回	目標値	3	3	3	3	3	
				実績値	3	-	-	-	-	
		算出根拠等		達成率(%)	100	-	-	-	-	
				目標値						
				実績値						
	達成率(%)									
	成果指標	算出根拠等		目標値						
				実績値						
				達成率(%)						
				目標値						
				実績値						
達成率(%)										

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・関係団体との活動内容の統合等による事務費の節減等について検討する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・事務費の節減について検討する。	
課の考えの担当	○ 維持・改善	
	拡大	・早期整備促進に向け、関係団体と連携した要望や提言活動を今後も継続して実施する。
	縮小	・事業主体と協力した住民説明会の開催や事業調整の実施により、事業の促進を図る。
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	722	915	1,550	1,650	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	8	10	17	18	
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

5 予算編成(Action2)

事業内容	・同盟会で行う要望、提言活動への負担金支出 ・国、県等への要望、提言活動(年3回(7月、11月、2月)予定) ・民間推進団体への補助金交付	要求のポイント	・中部縦貫自動車道等の整備促進に必要な経費の確保	事業実施の課題	・早期整備促進のための有効な要望活動の実施
------	---	---------	--------------------------	---------	-----------------------

事業費(人件費除)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,550	1,650	100	1,550	1,550	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	1,550	1,650	100	1,550	1,550		